

中干しの実施と雑草の取りこぼし！
早めの対応をとみましょう！！



1、管内の生育状況と今後の管理

5月中旬からの強風の影響で生育の停滞が見られていましたが、植え傷みも回復傾向にあり生育状況は平年並みです。連休から10日にかけて移植した圃場ではすでに中干しの適期を向かえております。田植え後1か月もしくは目標茎数の7~8割程度が目安です。未実施の圃場は速やかに中干しを開始してください。

新潟地方気象台3か月予報によりますと6月は雨や曇りの日は平年より少ない見込みですが、7月は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。移植が遅い地域では圃場の状態をよく確認して適期(早め)の中干しを実施しましょう。

~参考：実証圃生育情報 (6/17 調査) 北越後 11 営業所管内平均

品種：コシヒカリBL

*草丈：35.3 cm (並) *葉数：8.1 (並) *茎数：339 本/m² (並) *葉色：SPAD値 38.4

2、中干しの重要性

中干しが不十分であると、生育が過剰傾向・細茎となって倒伏が助長されます。適正生育量の確保は品質向上のための大事な作業ですのでしっかりと実施しましょう。

但し、長期間の中干しは根域を縮小し高温年では品質が低下する場合がありますので出穂の1ヶ月前には中干しを終了しましょう。

中干し終了後の急激な灌水は「根の酸素不足による根腐れ」等が発生しやすいので浅水の間断灌水を実施し「うわ根の発生促進と根の健全化」に努めましょう。

3、中・後期除草剤一覧 ~雑草の取りこぼし対策は早めに行いましょう~

圃場によってはヒエやホタルイ等の雑草の取りこぼしが見受けられます。圃場内で雑草が見られた場合は以下の表を参考に早めの対応で除草剤の散布を行いましょう。

使用薬剤名	農業成分数	ほっとコーナーお持ち帰り価格(税込)	適用雑草名	使用時期	注意点
クリンチャー1 ^{kg} 粒剤	①	1,361円	ヒエのみ	移植後25日~ノビエ5葉期(1.5キロ散布) ※収穫30日前まで	・広葉雑草には効果がないので、広葉雑草が混在する圃場では、それらに有効な剤との組合せて使用する。 ※1kg散布の場合は移植後7日~ノビエ4葉期(但し収穫30日前まで)の登録となります。
クリンチャージャンボ	①	2,388円	ヒエのみ	移植後25日~ノビエ4葉期(バック30個投込み) ※収穫40日前まで	
クリンチャーEW	①	1,833円	ヒエのみ	移植後20日~ノビエ6葉期まで ※収穫30日前まで	・広葉雑草には効果がないので、広葉雑草が混在する圃場では、それらに有効な剤との組合せて使用する。落水処理を基本とすること。 ※展着剤を入れること。
バサグラン(粒剤)	①	2,870円	オモダカ クログワイ ホタルイ	移植後15日~50日 ※収穫60日まで	・落水状態(又はごく浅く湛水状態)で散布し、少なくとも3日間はそのままとする。 処理後2日間の降雨は効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選ぶこと。
バサグラン(液剤)	①	2,032円	オモダカ クログワイ ホタルイ	移植後15日~50日 ※収穫55日まで	・散布後7日間は降雨の有無に関わらず落水しない。
クリンチャーパスME液剤	②	1,844円	ヒエ、オモダカ、 クログワイ、ホタルイ	移植後15日~ノビエ5葉期 ※収穫50日前まで	・落水状態(又はごく浅く湛水状態)で散布し、少なくとも3日間はそのままとする。処理後2日以内の降雨は効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選ぶこと。
ワイドアタックSC	①	3,614円	ヒエ、オモダカ、 クログワイ、ホタルイ	移植後20日~ノビエ5葉期まで ※収穫30日前まで	・ノビエ5葉期まで有効で広範な水田雑草を防除できる。 ・オモダカ、クログワイなど雑防除雑草にも効果を示す。
ハイカット1 ^{kg} 粒剤	④	2,901円	クログワイ、オモダカ、 ホタルイ	移植後15日~ノビエ3.5葉期 ※収穫60日前まで	・水稲4葉未満では使用しない。極端な深水や浅水水田、水持ちの悪い圃場、砂質土壌では使用を控える。
ワイドショット1 ^{kg} 粒剤	②	3,478円	ヒエ、ホタルイ、コナギ、 ウリカワ	移植後15日~ノビエ4葉期 ※収穫45日前まで	・湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水かけ流しはしない。(減水による田面にの一部露出する間際になったら適宜し水を実施する。) ・クサネムにも活性が高い。

※バサグランの使用時期は、移植後日数が優先されます。

4. 中間追肥

適切な生育調節と有効な資材投入で穂肥を施用できる稲姿に！

追肥資材	10a当り 施用量	ほっとコーナ ー 配達価格 (税込価格)	10a当り配達 価格(税込価 格)	追肥使用時期	成分量(kg) 10a当り								備考	
					リン酸			カリ	ケイ酸	苦土	鉄	マンガン		ホウ素
					可溶性	内水溶性	く溶性							
マルチサポート1号	40kg	¥1,540	¥3,080	出穂前40~35					4.8	6.0	0.8	0.2	0.1	
ミネラル三昧(15kg)	30kg	¥2,063	¥4,126	出穂前40~20	2.1	1.9			3.3	3.2	0.3	0.1	0.1	
グルメエース	40kg	¥2,106	¥4,212	出穂前40~35		0.8	2.4		7.0	4.0	1.1	0.04	0.04	
けい酸加里プレミア34	40kg	¥2,504	¥5,008	出穂前45~35					8.0	13.6	1.6		0.04	
ファイトアップ	0.5kg	¥3,386	¥3,386	出穂前45~30					0.05					チツソ0.015kg
塩化加里	10kg	¥1,865	¥932	出穂前30~20前後					6.0					

※上記資材を上手に活用し、稲体の活力を高めましょう！

・微量要素は拮抗作用がありますので、バランスが重要です！

微量要素の働き

- ・ケイ酸：根張りを充実させ、又、植物の細胞を強化し茎葉が丈夫になる。病害虫に対する抵抗性が増加する。(倒伏軽減・乳心白軽減・ゴマ葉枯れの軽減)
- ・苦土：葉緑素の構成要素で酵素の活性化物質が不足正常な光合成作用が出来なくなる。(アミロースの含有を抑え食味向上)
- ・マンガン：酸素還元反応の触媒の役割、光合成、ビタミンC生成に関与。(ゴマ葉枯れの軽減)
- ・ホウ素：細胞膜生成に関与し、欠乏すると発育停止などを起こす。カルシウム吸収に関与、水分、炭水化物とチツソ代謝促進。
- ・鉄：葉緑素の生成に関与、生体内の酸化還元反応及び光合成促進に関与。(ゴマ葉枯れの軽減)
- ・銅：生体内の酸化還元、葉緑素形成に関与、日照不足のときに効果が大きい。
- ・亜鉛：酸素の活性化を促進、植物ホルモン(オーキシン)の代謝に関与。

5. 病害虫防除

近年早生・極早生品種の斑点米格落ちが目立っています。⇒基幹防除はキッチリとカメムシは農道畦畔のみではなく、本田内のヒエやホタルイも好みますので除草対策も徹底しましょう。

JA北越後草刈り重点推進期間

第2回 6月27日(土)~7月6日(月)

斑点米被害を防ぐには本田内防除と草刈りによってカメムシの発生密度を減らしておくことが最も重要です！！



各地区防除協議会の一斉防除計画に基づき、防除の徹底で斑点米格落ちゼロを！

気温の高い日が続きます。水分補給はこまめに！
農作業は涼しい恰好で、無理せず熱中症に気を付けましょう！